

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	44.60	322.96
	技術協力 (億円)	1.09	6.29
	政府貸付金等 (億円)	-1.41	40.51
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.71	6.29
	研修員受入 (人)	13(新規)+1(継続)	42
	専門家派遣 (人)	1(新規)+2(継続)	2
	調査団派遣 (人)	14(新規)+0(継続)	79
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	10
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

無償資金協力	44.60
技術協力	1.09
政府貸付金等	-1.41

わが国の対モザンビークODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
帰還民支援計画	協力省	(株)日本国際協 カシステム	94	4.82	95.3.20		
<p>モザンビークでは、内戦当時、国内外に逃れた人々が500万人を超えたといわれているが、1995年内に帰還がほぼ完了すると見込みとなっている。そこで簡易住宅の整備や地域社会の再建のため、学校、病院などの屋根用資材の亜鉛鉄板を購入する。</p>							
イニャンバネ州道路補修 機材整備計画	公共事業省	(株)建設企画コ ンサルタント	94	6.99	95.5.23	94.12(報)	
<p>地方道路の保守のため、イニャンバネ州に対する道路保守機材の供与を行う。</p>							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業省	朝日本国際協 力システム	94	10.00	94.9.21	(資)	94.12(実)

国民1人当たりのGNPが70ドル(1991年)とLLDCのなかでもとりわけ貧しいモザンビークの経済状況では、生産性の向上を主要手段とした食糧増産に必要な農業用資機材の調達が困難なため、わが国に対して肥料、農薬、農業機械の調達にかかる無償資金援助を要請してきた。

ナミビア

		1994年度	1993年度までの累計
O D A 実 績	無償資金協力	(億円) 6.56	43.83
	技術協力	(億円) 3.45	1.98
	政府貸付金等	(億円) 0	0
	技術協力経費	(億円) 1.02	1.98
J I C A 技 術 協 力 実 績	研修員受入	(人) 10(新規)+0(継続)	17
	専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣	(人) 8(新規)+0(継続)	40
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	0
	開発調査	(件) 1	0
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

無償資金協力 6.56 (65.6%)	技術協力 3.45 (34.4%)
---------------------------	-------------------------

わが国の対ナミビアODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業・水利・ 農村開発省	㈱日本国際協 力システム	94	3.00	94.11.14	(資)	94.11(実)
<p>ナミビアの農業は北部および北東部の限られた地域において営まれている。アフリカ最後の植民地として1990年3月南アフリカ共和国から政治的な独立を果たしたナミビアにとって、経済的な独立が重要であり、なかでも穀物需要(トウモロコシ、小麦、米)の70%を輸入に頼っており、農業の振興が緊急政策である。</p> <p>このような状況のもと、ナミビア政府は地方住民の農業への完全参加を促進することにより、地方雇用を促進するとともに、食糧自給率の向上によって、経済的独立を果たす方策として「食糧増産援助計画」を策定し、わが国に無償資金協力を要請してきた。</p>							

ナミビア
アフリカ

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
オレンジ・カルクフェルド地域資源開発調査	オレンジ・カルクフェルド地域のレアース、およびポーフィリー型の銅鉱床の賦存の状況を調査することを目的としている。1994年度は、地化学探査、ボーリング調査を実施し、レアース、ニオブ、リン、鉄などの有用金属の水平および垂直的分布状況を把握することができたが、鉱山開発を検討するほどの濃集部は認められなかった。	鉱山エネルギー省地質調査所	金属鉱業事業団

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	30.99	330.90
	技術協力 (億円)	13.36	58.35
	政府貸付金等 (億円)	-1.90	32.00
	技術協力経費 (億円)	9.49	58.35
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	21(新規) + 7(継続)	125
	専門家派遣 (人)	2(新規) + 4(継続)	23
	調査団派遣 (人)	31(新規) + 0(継続)	395
	協力隊派遣 (人)	25(新規) + 36(継続)	133
	単独機材供与 (100万円)	0	176
	開発調査 (件)	2	6
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

無償資金協力	30.99
技術協力	13.36
政府貸付金等	-1.90

わが国の対ニシエールODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
南西部国土基本図作成調査	南西部の開発ポテンシャルを有する地域2万7000km ² を対象に縮尺5万分の1の国土基本図を作成する。1994年度は、93年度に引き続き本格調査を実施し、図化・編集・現地補備測量を行った。	大蔵省地図局	①国際建設技術協会 国際航業㈱

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
食糧増産援助	農業・牧畜省 植生保護局 農協・食糧供給センター	①日本国際協力システム	94	5.50	94.9.14	(資)	
米や Millet などの穀物の増産を図るため、必要な肥料、農業、農業機械、輸送用車両の購入に必要な資金を供与する。							

第2次ウアラム農村復興計画	水利環境省	(株)建設企画コンサルタント	94	4.37	94.8.11		
ティラベリ県ウアラム郡で100本の井戸および11カ所の小規模灌漑施設の建築などを行う。							
食糧公社輸送力増強計画	ニジュール食糧公社		85	4.00			94.11 (F/U)
(1) 本体：1985年に食糧輸送用車両などの供与を行った。 (2) フォローアップ協力：使用頻度が高いためカーゴトラック、カーゴトレーラーのスベアパーツを供与する。							

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
シルバ地域資源開発調査	地質調査、地化学探査、物理探査およびボーリング調査を実施し、金鉱床の賦存状況を把握し、開発可能な鉱床を発見する。1994年度は、トレンチ調査、ボーリング調査を実施し、鉱量約410万tの金鉱床を発見した。	鉱物資源公社	金属鉱業事業団

● ナイジェリア ●

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	6.87	190.21
	技術協力 (億円)	3.13	90.02
	政府貸付金等 (億円)	-19.68	873.82
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.17	90.02
	研修員受入 (人)	0(新規)+4(継続)	745
	専門家派遣 (人)	0(新規)+1(継続)	216
	調査団派遣 (人)	9(新規)+0(継続)	382
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	245
	開発調査 (件)	1	5
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	4

無償資金協力	6.87
技術協力	3.13
政府貸付金等	-19.68

わが国の対ナイジェリアODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

ニジュール/ナイジェリア@アフリカ

● 公共・公益事業分野 ●

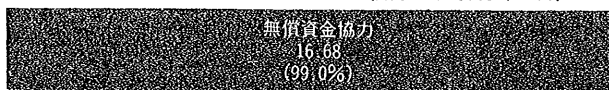
開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
全国水資源総合開発計画	国民生活水準の改善、国家財政の再建を目的として、ナイジェリア全土(総面積92万8000km ²)を対象とした水資源総合開発に関するマスタープランを策定するものである。1994年度は、93年度に実施した第3次現地作業の結果に基づき水資源総合開発計画を策定し、これを最終報告書案に取りまとめ、ナイジェリア側へ説明した後、ナイジェリア側のコメントを受け、最終報告書を作成した。	水資源省	㈱三祐コンサルタンツ 住鉦コンサルタント(株)

ルワンダ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	16.68	190.48
	技術協力 (億円)	0.16	23.96
	政府貸付金等 (億円)	0	46.49
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.087	23.96
	研修員受入 (人)	1(新規)+1(継続)	117
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	21
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	137
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	52
	単独機材供与 (100万円)	0	1
	開発調査 (件)	0	2
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

技術協力 0.16 (1.0%)



わが国の対ルワンダODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

○ サントメ・プリンシペ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	2.43	26.39
	技術協力 (億円)	0.82	2.46
	政府貸付金等 (億円)	0	0
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.34	2.46
	研修員受入 (人)	2(新規)+0(継続)	21
	専門家派遣 (人)	0(新規)+1(継続)	3
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	8
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	1
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

無償資金協力
2.43
(74.8%)

技術協力
0.82
(25.2%)

わが国の対サントメ・プリンシペODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

○ セネガル

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	63.08	499.62
	技術協力 (億円)	14.64	105.29
	政府貸付金等 (億円)	0.84	150.25
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	9.79	105.29
	研修員受入 (人)	42(新規)+6(継続)	237
	専門家派遣 (人)	3(新規)+5(継続)	59
	調査団派遣 (人)	81(新規)+0(継続)	561
	協力隊派遣 (人)	29(新規)+44(継続)	257
	単独機材供与 (100万円)	0	319
	開発調査 (件)	2	5
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	1

政府貸付金等 0.84 (1.1%)

無償資金協力
63.08
(80.3%)

技術協力
14.64
(18.6%)

わが国の対セネガルODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ダカール市周辺地域下水・排水施設整備計画	本計画は、急激な人口集中による衛生環境の悪化に対応するため、首都ダカール市および周辺地域を対象として段階的実施計画を含む、汚水処理および雨水排水システムの整備に関する基本計画を策定し、同計画のなかで選定された優先プロジェクトについてフィージビリティ調査を行う。1994年度は、優先プロジェクト策定についての現地調査作業結果を踏まえ、優先プロジェクトとして選定されたパーセルアセニ地区の汚水処理計画および中央ピキン地区の雨水排水計画についての計画諸元の設定、設計基準設定、概略設計、施工計画策定、管理・運営計画策定、概算事業費積算、環境アセスメント、事業評価、実施計画策定を行い、これまでの調査結果を最終報告書案に取りまとめるとともに、セネガル側への説明・協議を実施し、これに対するコメントを受けて最終報告書を作成し提出した。	地方開発・水利省	(株)パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル (株)東京設計事務所

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
地方都市給水網整備計画	セネガル上下水道公社	日本テクノ(株)	94	4.80	94.8.8		
首都ダカールは近年、人口急増により給水状況が悪化してきているため、ダカールへの送水管から取水を行っている都市を中心に、8都市に対し井戸掘削、給配水施設などの建設を行う。							
地方給水施設整備計画	地方開発・水利省地方水利局	日本テクノ(株)	94	12.03	94.8.8	94.6(専) 94.9(本) 95.2(報)	
1970～80年代にかけて旱魃被害により人口の約60%にあたる地方住民が生活用水にも事欠くなど深刻な状況に陥ったため、12カ村に対する給水施設の建設、維持管理用機材の供与を行う。							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
苗木育成場整備計画(第2次)	環境自然保護省	(株)日本林業技術協会				94.9(本) 95.3(報)	
砂漠化防止のための植林活動に用いられる苗木育成場などの建設および関連機材の整備。							
食糧増産援助	農業省	(株)日本国際協力システム	94	6.00	94.9.22	(資)	94.8(実)
セネガルは穀物の自給率を2000年までに現在の50%から80%まで増やす「穀物増産計画」を実施中であり、この計画の一環として農業を中心とした資機材を供与する。							
デビ地区灌漑改修計画	地方開発・水利省	太陽コンサルタンツ(株)	94	15.96	94.8.8		
本計画は近年セネガル川流域の防潮ダム完成により、安定した水利用が可能になったデビ地区で灌漑農地の水田開発、灌漑水路、排水水路の改修を行うものである。							

セネガル
●
アフリカ

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ダカール地区電力整備拡充計画	発電設備に関するセネガル電力公社策定の電源開発計画マスタープラン、および配電設備について既存のダカール地区の送配電のマスタープランのレビュー後、早急に対策の必要なダカール連係系統の電力設備の拡充について短期(3~5年)の計画を策定する。1994年度は、本格調査の第1年次であり、2度にわたる現地調査(電力設備の現況、電力事情、既存設備の周辺地域への影響など)と国内での各種資料の整理・分析、既存のマスタープランの見直し、拡充設備の選定を行った後、結果を着手報告書として取りまとめ、第3次現地調査においてレポートの説明と拡充設備予定地の詳細調査を行った。	セネガル電力公社	(株)EPDCインターナショナル

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
小学校教室建設計画	国民教育省教育訓練計画局	㈱大建設計	94	9.97	94.8.8		95.3(実)
セネガルでは、高い出生率と人口の都市への集中により生徒数が急増しているため、首都ダカール市を中心に小学校教室の増設と建て替えを行う。							

● セイシェル ●

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	0.21	14.64
	技術協力 (億円)	0.67	4.75
	政府貸付金等 (億円)	0	0
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.68	4.75
	研修員受入 (人)	15(新規)+0(継続)	53
	専門家派遣 (人)	3(新規)+1(継続)	5
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	32
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	22
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

無償資金協力 0.21 (24.1%)	技術協力 0.67 (75.9%)
---------------------------	-------------------------

わが国の対セイシェルODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
沿岸漁業振興計画	セイシェル漁業公社	D&A エンジニアリング(㈱)	94	4.63	94.7.29		
セイシェルでは観光業偏重の経済構造を改善するため、特に漁業の振興に重点を置いているが、零細沿岸漁業の振興は十分に進んでいないため、漁船、漁具、製氷機などの購入を行う。							

シエラ・レオネ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	10.78	77.79
	技術協力 (億円)	0.13	8.03
	政府貸付金等 (億円)	-0.38	61.71
	技術協力経費 (億円)	0.22	8.03
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	8(新規)+0(継続)	120
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	6
	調査団派遣 (人)	2(新規)+0(継続)	64
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	4
	開発調査 (件)	0	2
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

無償資金協力	10.78
技術協力	0.13
政府貸付金等	-0.38

わが国の対シエラ・レオネODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

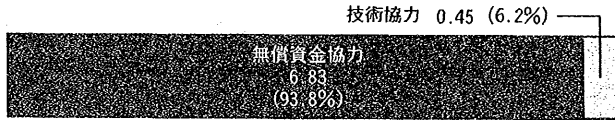
南アフリカ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)		1.68
	技術協力 (億円)		0.17
	政府貸付金等 (億円)		0
	技術協力経費 (億円)	0.41	0.17
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	3(新規)+0(継続)	2
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	17(新規)+0(継続)	3
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

セイスヘル/シエラ・レオネ/南アフリカ@アフリカ

スワジランド

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	6.83	22.49
	技術協力 (億円)	0.45	14.94
	政府貸付金等 (億円)	0	0
	技術協力経費 (億円)	0.77	14.94
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	11(新規)+0(継続)	53
	専門家派遣 (人)	0(新規)+1(継続)	18
	調査団派遣 (人)	6(新規)+0(継続)	73
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	3
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0



わが国の対スワジランドODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
地方給水計画	天然資源エネ ルギー省	(株)パシフィック・コンサル タンツ・インターナショナル 三井金属資源 開発(株)				94.11(事) 95.3(本)	
給水施設の建設および井戸掘削機材の整備を行う。							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業協同組合 省	(株)日本国際協 力システム	94	3.00	94.10.21	(資)	

農民が自然災害によってもたらされる困難な状況に打ち勝って食糧生産を行うには、肥料、農薬、農機などが適切な安い価格で供給されることが必要であるところから、スワジランド政府は、わが国に本「食糧増産援助計画」による資金供与を要請してきた。

○ タンザニア

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力	(億円) 81.39	689.37
	技術協力	(億円) 27.55	266.68
	政府貸付金等	(億円) -1.95	403.01
JICA技術協力実績	技術協力経費	(億円) 26.19	266.68
	研修員受入	(人) 165(新規)+28(継続)	1,238
	専門家派遣	(人) 43(新規)+28(継続)	371
	調査団派遣	(人) 82(新規)+0(継続)	1,173
	協力隊派遣	(人) 37(新規)+76(継続)	729
	単独機材供与	(100万円) 0	510
	開発調査	(件) 4	21
	プロジェクト方式技術協力	(件) 3	8

無償資金協力	81.39
技術協力	27.55
政府貸付金等	-1.95

わが国の対タンザニアODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
ムワンザ・ゲイタ地域国 土基本図作成調査	タンザニア有数の穀倉地帯であるムワンザ・ゲイタ地域の約2万5500km ² を対象に、縮尺5万分の1の国土基本図を作成するものである。1994年度は、93年度に引き続き本格調査を実施し、製図・印刷を行い、最終成果品を提出した。	国土住宅都市 開発省都市住 宅局測量地図 課	(株)パスコ・イ ンターナショ ナル (株)国際建設技 術協会

スワジランド/タンザニア@アフリカ

ダルエスサラーム道路開発計画	本計画は、人口、経済規模の拡大するダルエスサラーム市の交通網を抜本的に整備し、首都機能の維持を図るため、総合的、長期的観点から道路整備計画のマスタープラン調査、フィージビリティ調査を行うものである。1994年度は、93年度に引き続き本格調査を実施し、優先事業のフィージビリティ調査を行い、最終報告書を提出した。	公共事業省	日本技術開発(株) 日本工営(株)
アルーシャ州モンドリ地区水資源開発計画	アルーシャ州モンドリ市およびその周辺地域を対象に、生活用水などの確保のための地下水を中心とする水資源開発計画調査を行う。1994年度は、着手報告書を説明・協議後、試掘調査で使用するボーリング用機材の調整・修理を行い、モンドリ市については既存給水施設現況、地形地質踏査、試掘調査などを通じて地下水開発可能性ならびに代替水源開発可能性検討のデータを整え、モンドリ郡18村落については試掘調査対象村落を選定する。また、水利用実態調査、社会・経済調査などにより衛生教育方法を検討する。そのうえで、これら調査結果を進捗報告書に取りまとめた。	水・エネルギー・鉱物資源省 アルーシャ州開発庁	(株)三祐コンサルタンツ 日本技術開発(株)
ルブ川水資源開発計画	ダルエスサラーム市への水供給およびルブ川流域の農業開発を目的としたルブ川流域の水資源開発計画を策定するものである。1994年度は、最終報告書案のコメントをまとめ、最終報告書を作成した。	水・エネルギー・鉱物資源省	日本工営(株) (株)パシフィック・インターナショナル

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
ザンジバルテレビ局復旧計画	ザンジバル自治政府情報・文化・観光・青年省	(株)NHKアイテック	94	4.48	95.4.11	94.10(本) 95.1(報)	
<p>タンザニア唯一の国営テレビ局であるザンジバルテレビ局では、著しい機材の老朽化にもかかわらず、経済の低迷から更新が不可能なために、放送中止の危機に直面している。そこで、送信機、スタジオ設備などを新たに購入する。</p>							
首都圏道路網整備計画	ダルエスサラーム市	日本技術開発(株) 日本工営(株)	94	8.86	94.7.28		94.4(実)
<p>首都ダルエスサラームでは、近年、自動車交通の増加により混雑が著しいが、独立以来長年にわたり本格的な改修がなく、路面の疲弊がはなはだしいため、道路網の修復と拡幅を行う。</p>							

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
キリマンジャロ村落林業 計画(II) (当初R/口協力期間) 93.1.15~98.1.14	92	事前調査	93年度までの 累 計		4	3	10,964
			93	計画打合せ	新規	10	1
	94年度	継続			0	0	

〈要請背景〉

半乾燥地帯が広く分布するタンザニアでは人口増加に伴う森林の高地化、過度の薪炭材採取および過放牧により、森林(サバンナ林)が急速に減少している。森林の減少を緩和し、地域住民の薪炭林需要に応じていくためにタンザニア政府は、わが国に対して村落林業(薪炭林造成、アグロフォレストリーシステム、飼料木林造成など)手法の導入による半乾燥地における森林造成をめざす協力を要請した。

〈目標と期待される成果〉

タンザニアにおける村落林業の推進に資するため、半乾燥地における社会林業活動に必要な造林および普及にかかわる技術の開発・改良を行う。

- (1) 村落における苗畑・造林技術の確立
- (2) 技術の展示普及のための展示林造成
- (3) 普及にかかわる技術の開発・改良

〈協力活動内容〉

- (1) 村落における苗畑・造林技術の確立

- ①作業体系の開発・改良
- ②小規模苗畑の苗畑管理技術の開発・改良
- ③苗木の硬化処理試験
- ④現地資材によるポット用土調製
- ⑤活着率向上試験
- ⑥生存率向上試験
- ⑦その他必要な技術の開発・改良

- (2) 技術の展示普及のための展示林造成

- ①展示林造成(環境林造成、人工林造成、天然林改良、採種圃造成、樹木園造成)
- ②普及モデルプロットの設置

- (3) 普及にかかわる技術の開発・改良

- ①普及計画手法の開発・改良
- ②普及資器材の開発・改良
- ③普及計画のモデル的实施

(一般広報・各種イベント活動、小規模苗畑の普及、訓練、セミナーの開催、共同体単位の植栽普及)

キリマンジャロ農業技術者訓練センター計画 (当初R/D協力期間) 94.7.1～99.6.30	92	事前調査	93年度までの 累計		0	0	0
	93	長期調査					
	93	実施協議	94年度	新規	9	3	35,470
	94	実施設計		継続	0	0	
94	計画打合せ						

〈要請背景〉

わが国は1970年代からキリマンジャロ州に対し、灌漑稲作技術の確立とその技術移転を目的として各種の協力を実施してきた。その結果協力対象地域では米の反当たり収量が増加し、周辺地域に稲作技術が波及しただけでなく、農民が自発的に組織を作り灌漑施設を整備するなど、プロジェクトの効果はきわめて顕著であった。これを高く評価したタンザニア政府は、協力の成果をタンザニア全土に普及すべく、わが国に対して農業技術者を訓練するためのプロジェクト方式技術協力を要請した。

〈目標と期待される成果〉

訓練センターの機能を強化し、研修指導教官、農業改良普及員、水管理職員、農業機械職員、中核農民の灌漑稲作に関する技術水準を向上させる。

〈協力活動内容〉

灌漑稲作に関し、農業普及・研修、稲作、水管理、農業機械の分野で以下の活動を行う。

- (1) 研修指導教官の技術水準強化：実務研修、日本での研修
- (2) 研修方法の改善：研修計画、カリキュラム
- (3) 研修教材の改善：情報収集、実証試験、現地調査、研修教材作成
- (4) 政府職員や中核農民の研修：研修、セミナー、研修修了者の巡回指導
- (5) 普及方法の改善

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業省タンザニア肥料公社	㈱日本国際協力システム	94	8.50	94.9.19	(資)	94.7(実) 94.9(実)

タンザニアは農業が国家経済の基本であり(GDPの約5割、輸出総額の約6割、労働力の約8割を占めている)、食糧の安定供給が国家社会存立の基盤であるとの認識のもと、農業生産性の増大と農業所得の向上をめざし、多岐にわたる農業改革を実施している。国家農業政策(National Agriculture Policy 1982～)およびそのもとで実施されている国家食糧戦略(National Food Strategy 1984～)は、現在改定中であるが、基本的政策に変わりはなく、農業生産増大のために肥料・農業の供給を行い、トラクター導入などの機械化を進めることとしている。特に国内肥料工場が閉鎖されてからは、海外からの肥料供給が増大している一方、毎年のように病害虫が大量発生し、農業の需要もいっそう高まっている。

このような経緯から、タンザニア政府は食糧の生産性向上を図るため、日本政府に無償資金協力を要請してきた。

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
母子保健プロジェクト (当初F/D 協力期間) 94.12.1~99.11.30	93	事前調査	93年度までの 累 計		0	0	0
			94	長期調査 実施協議	94年度	新規	
	継続	0				0	23,798

〈要請背景〉

タンザニアの乳児死亡率はEPI(予防接種普及計画)により独立後改善されてはいるが、依然として東アフリカ地域では最も高い状況である。しかし、医師、看護婦の不足、医療施設の不備のため、保健医療サービスの普及は容易ではない現状である。また年人口増加率も高い。

このため、タンザニアでは国家活動計画を策定し、乳幼児・妊婦死亡率の低下などの目標を設定している。このような状況を踏まえてわが国に対し、人口増加率の抑制に貢献する母子保健プロジェクトの要請を行った。

〈目標と期待される成果〉

タンザニアにおいて、母子疾病率および死亡率を減少させるとともにポリオ根絶に資することを目標とする。このため以下の成果をめざす。

- (1) ムヒンビリ・メディカルセンター(MMC)小児科のレベルを向上させ、母子死亡率を低下させる。
- (2) MMCのEPI疾患のウイルス学的診断能力を向上させる。
- (3) 母子保健活動をモデル地域であるタンガ、コログエ郡において強化する。

〈協力活動内容〉

- (1) ①国家レベルの母子保健活動に従事する人材を養成する。
②母子保健活動普及教材を整備し、普及員の研修を行う。
③母子保健活動に必要な資機材を設置する。
- (2) ①MMCウイルス学検査室のウイルス学医師と検査技師を養成する。
②レファレンス・ラボラトリー整備のため、MMCウイルス学検査室に資機材を設置する。
- (3) ①タンガ、コログエ郡において、州と郡の公衆衛生と衛生情報管理に従事する人材を養成する。
②EPI疾患のサーベイランス体制を整備する。
③地域住民への家族計画、母子保健普及のための教材を整備し、セミナーを実施する。
④母子保健活動を実施する施設に機材を設置する。
⑤モニタリングと監理に必要な資機材を整備する。

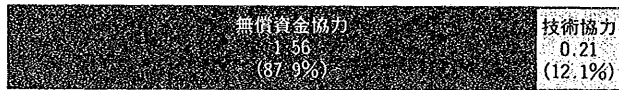
タンザニア
アフリカ

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
中核病院医療機器整備計画	保健省	(株)ピンコー	94	7.94	95.3.20	94.9(本) 94.12(報)	
<p>全国6カ所の総合病院では、検査・医療機器がすでに15年以上経過し、老朽化ないし使用不能に近い状態となっており、本来の医療サービスを提供できないため、必要な機材・機器類を購入する。</p>							

トーゴ

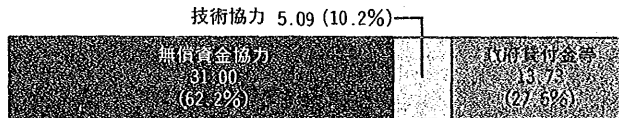
		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	1.56	80.72
	技術協力 (億円)	0.21	3.05
	政府貸付金等 (億円)	0	44.00
	技術協力経費 (億円)	0.26	3.05
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	11(新規)+1(継続)	49
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	7
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	22
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0



わが国の対トーゴODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ウガンダ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	31.00	146.74
	技術協力 (億円)	5.09	23.09
	政府貸付金等 (億円)	13.73	72.55
	技術協力経費 (億円)	4.54	23.09
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	35(新規)+3(継続)	296
	専門家派遣 (人)	2(新規)+0(継続)	69
	調査団派遣 (人)	59(新規)+0(継続)	138
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	44
	開発調査 (件)	3	2
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	1



わが国の対ウガンダODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ヴィクトリア湖北部地形図作成調査	ヴィクトリア湖北部地域を対象として空中写真の撮影を行い、縮尺5万分の1の地形図を作成する。1994年度は、本格調査を開始し、空中写真撮影・標定点測量を行った。	土地・住宅都市開発省測量・地図局	(株)パスコ・インターナショナル (株)国際建設技術協会
電気通信網長期計画	ウガンダ全土を対象に、2010年を計画目標年次とする電気通信網マスタープランを策定する。1994年度は、第1年次において作成した着手報告書をウガンダ側に提出・説明するとともに、組織・運営計画、各設備計画の策定およびプロジェクト評価を行うための補足資料の収集および現地調査を実施した。 以上の結果を踏まえ、各設備計画、組織・運営計画および保守・運用計画を策定、プロジェクトの形成・評価、概算事業費積算および実施計画の策定を行い、本調査結果に基づき通信網を整備するにあたっての提言事項を加え、最終報告書案を作成し、これをウガンダ側へ提出し協議を行うとともに、ウガンダ側から出されたコメントなどを盛り込み、最終報告書を作成・提出した。	郵便通信公社	日本情報通信コンサルティング(株)

トーゴ/ウガンダ/アフリカ

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
建設機械整備計画	自治省	(株)建設企画コンサルタント				94.6(本) 94.10(報)	
ブゲンベ建設機材修理工場における新規ワークショップなどの建設および修理用機材の供与を行う。							

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
中部農業総合開発計画	農業開発ポテンシャルの高いウガンダ中部地域における食用作物、換金作物の増産による農民の生活水準向上を主目的とし、同地域に位置するムコノ、ルウェロ、ムピギ、マサカの4行政区約4万203km ² を対象として農業総合開発計画(マスタープラン)の策定を目的とする調査を行うものである。1994年度は、最終報告書を作成し、ウガンダ政府に提出した。	農業・畜産・水産省	農用地整備公団

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
食糧増産援助	農業・畜産・水産省	(株)日本国際協力システム	94	4.50	94.9.8	(資)	94.8(実)
<p>病虫害の防除のための農薬散布、肥料および農業機械に投入により、単位面積当たりの収穫量の増大を図る。</p>							

● エネルギー分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
首都圏配電網整備計画	ウガンダ電力公社	八千代エンジニアリング(株)	94	9.66	94.7.26		
<p>首都カンパラ市周辺地域の送配電網は敷設後40年あまりが経過し、老朽化が著しいため、変電所3カ所の建設および配電用変圧器、避雷器などの資機材の供与を行う。</p>							

ザイール

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	4.06	249.35
	技術協力 (億円)	0.57	64.16
	政府貸付金等 (億円)	0	497.54
	技術協力経費 (億円)	0.19	64.16
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	3(新規)+2(継続)	244
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	160
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	298
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	342
	開発調査 (件)	0	8
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

無償資金協力 4.06 (87.6%)	技術協力 0.57 (12.4%)
---------------------------	-------------------------

わが国の対ザイールODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ザンビア

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	66.47	593.81
	技術協力 (億円)	23.24	194.66
	政府貸付金等 (億円)	19.38	763.78
	技術協力経費 (億円)	26.97	194.66
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	72(新規)+10(継続)	448
	専門家派遣 (人)	30(新規)+32(継続)	261
	調査団派遣 (人)	119(新規)+1(継続)	728
	協力隊派遣 (人)	38(新規)+71(継続)	592
	単独機材供与 (100万円)	47.52	509
	開発調査 (件)	4	13
	プロジェクト方式技術協力 (件)	3	3

無償資金協力 66.47 (60.9%)	技術協力 23.24 (21.3%)	政府貸付金等 19.38 (17.8%)
----------------------------	--------------------------	----------------------------

わが国の対ザンビアODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

.....
 機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
都市計画調査用機材	一式	8,189	教育省 コッパーベルト大学環境学 部	小規模単独機 材	協力隊

.....
 開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
全国水資源開発計画	ザンビアの生活用水、灌漑用水の確保、さらには今後の水資源開発が進んだ場合の各利水者間の調整を図るため、主要河川水資源開発調査(第1期)で行った水文解析データをもとに、ザンビア全土を対象とする水資源総合開発に関するマスタープランを策定するものである。1994年度は、93年度に引き続き本格調査を実施し、中間報告書まで作成した。	エネルギー・ 水開発省	八千代エンジ ニヤリング(株)

.....
 無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相 手 国 実施機関	調 査 業 務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
地方給水計画	エネルギー・ 水開発省水利 局	日本テクノ(株)	94	7.22	94.8.2		
ルサカ州、中央州、コッパーベルト州における4期220本の深井戸建設と160カ所の既存給水施設の改修を行う計画のうち、1994年度は、新規掘削井88本、既存給水施設の改修40カ所および削井ツール類の供与を行う(1994年度は4期目)。							
ルサカ市周辺地区給水計画	ルサカ市上下 水道公社	日本テクノ(株)	94	8.45	94.8.2		
ルサカ市外縁部ジョージ地区における4期8システムの簡易水道の建設および関連機材の供与を行う計画のうち、1994年度は、3システムの簡易水道建設と関連機材の供与を行う(1994年度は2期目)。							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
ザンビア大学獣医学部技 術協力計画(II) (当初R/D協力期間) 92.7.22~97.7.21	91	事前調査 実施協議	93年度までの 累 計		11	9	63,138
			92	計画打合せ 巡回指導	新規	15	4
	94年度	継続			2	1	

〈要請背景〉
 ザンビアは約320万頭の牛を保有する牧畜国であるが、家畜疾病などのため生産性が低く、畜産物を輸入している。また、獣医師の数が極端に少なく、家畜衛生対策が遅れている。この状況を打開するため、ザンビア政府は、ザンビア大学に獣医学部を新設し、獣医師の養成を図ることとし、この計画について1982年にわが国に対し、無償資金協力および技術協力を要請してきた。その後、7年半の協力により、おおむね当初目標である獣医師養成の獣医学部教育制度確立の達成にめどがかった。
 一方、学部教育体制はほぼ確立されたものの、教官の大半は非ザンビア人であるため、ザンビア政府はザンビア人自らの手で教官育成ができる大学院教育に関するフェーズIIの協力をわが国に要請してきた。

〈目標と期待される成果〉
 ザンビア人のアカデミック・スタッフ育成のため、獣医学研究と普及活動を強化しつつ、大学院教育プログラムを確立することを目的とする。また、すでに確立されている学部教育プログラムを維持・強化する。

〈協力活動内容〉
 (1) 学部卒業教育プログラムの開発、コースの確立および講義
 (2) 卒業技術補完研修プログラムの開発および講義
 (3) 獣医学研究活動
 (4) 学部教育プログラムの維持・強化
 (5) 獣医学普及サービスの強化
 (6) セントラルサービス(機材保守部門)

ザンビア●アフリカ

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
ザンベジ川流域モング地 域農村開発計画	開発の遅れている西部州モング地域ザンベジ川 氾濫原縁辺部において効果的な営農技術の導入に よる小規模農民の農業生産性ならびに生活レベル の向上を目的とした農村総合開発計画を策定し、 モデル地区を選定のうえフィージビリティ調査を 実施するものである。1994年度は、93年度に引き 続き本格調査を行い、進捗報告書(II)をザンビア 政府に提出した。	農業・食糧・ 水産省	太陽コンサル タンツ(株) 国際航業(株)

南西地域チーク林資源調査	ザンビア南西地域のセシュケおよびムロベジ地区を中心とした森林約50万haを調査対象として、航空写真を撮影するとともに、土地利用状況および植生概況を把握する。さらに、当該地域のうちザンビアチーク林が主として分布する地域を対象として、森林資源量を把握するとともに、ガイドライン的な森林管理計画を策定する。1994年度は、93年度に引き続き本格調査を実施し、進捗報告書(I)をザンビア政府に提出した。	環境天然資源省林業局	助林業土木コンサルタンツ(株)パスコ・インターナショナル
--------------	---	------------	------------------------------

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業・食糧・ 水産省	㈱日本国際協 力システム	94	10.00	94.9.27	(資)	
<p>ザンビア政府は1991年以来世界銀行、IMFとともに民間活力を原動力とした市場経済原理に基づく健全な経済発展、政府の規制・介入の緩和および資金の有効配分を基本政策とした構造調整政策を積極的に推進しており、農業開発、農業振興についても同様の理念に基づいてその政策を進める方針である。また、特に農業分野においては、将来における旱魃被害を最小限度に迎えるため、主食のトウモロコシ増産および生産性の低い乾燥した傾斜地でのソルガム(トウモロコシ)生産、その他食用穀物である小麦、粟、米など作物の多様化を計画している。さらに、肥料、農業の利用による生産性の向上を目的とした「食糧増産計画」を策定し、これら農業資機材の調達についてわが国に対して無償資金協力を要請してきたものである。</p>							

● 鉱工業分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
自動車整備用機材	一式	30,049	内務省警察本部	一般単独機材	専門家派遣

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
チャンピシ南東地域資源 開発調査	チャンピシ南東鉱床において、探査余地が残されている鉱体の傾斜延長の探部に対してボーリング調査を実施して、埋蔵鉱量の拡大を図る。1994年度は、ボーリング調査を実施し、北部鉱体の北西方向延長上で、深度約950~1000m付近で銅鉱体が連続していることを確認した。南部鉱体の南西でも深度522m付近で鉱徴を捕捉した。	ザンビア銅鉱 山公社	金属鉱業事業 団

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
中・高等学校用理科実習 機材	一式	9,282	教育省理科指導部	小規模単独機 材	協力隊

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
職業訓練拡充計画 (当初R/D協力期間) 87.10.1~92.9.30 (フォローアップ協力期間) 92.10.1~94.9.30	86	基礎調査	93年度までの 累 計	46	23	210,436
	86	事前調査				
	86	長期調査				
	87	実施協議	94年度	新規	0	0
	87	計画打合せ				
	88	巡回指導				
	89	計画打合せ				
	90	巡回指導				
	91	計画打合せ				
92	エバリュエーション	継続	6	0	15,176	

ザンビア●アフリカ

〈要請背景〉

1985年10月、安倍外務大臣(当時)より、南部アフリカ情勢の政治的安定に資するとの観点から、南部アフリカ諸国における人づくり協力を積極的に推進する旨の発言がなされた。このような経緯から、86年6月、ザンビアを対象に職業訓練分野での協力を実施し、将来的には同国を拠点とした第三国研修の実施を通じた南部アフリカ諸国への技術協力実施の可能性を調査・検討する目的で基礎調査団をザンビアに派遣した。その結果、ザンビア高等教育大臣ら関係者から、ザンビアにおける職業訓練分野での協力が強く要請されるとともに、実施妥当性が確認された。

〈目標と期待される成果〉

ザンビア政府は、同国経済の銅産業への過度の依存体制からの脱却を図るために、国家開発計画において工業・サービス業部門の拡充を重点項目にあげている。

本プロジェクトでは、ザンビア国内の職業訓練校の教育内容の向上を図ることを目的とする。

〈協力活動内容〉

カヴェ職業訓練校(KITI)、北部技術専門学校(NORTEC)、技術教育・職業訓練局(DTEVT HDQ)に対して、テキスト作成などの技術移転を完了するための、94年9月30日まで2年間のフォローアップ協力は、予定どおり終了した。

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
感染症プロジェクト (当初R/D協力期間) 89.4.1~94.3.31 (フォローアップ協力期間) 94.4.1~95.3.31	88	事前調査	93年度までの 累 計	31	14	354,143	
	88	実施協議					
	89	実施設計					
	89	機材修理	94年度	新規	2	6,133	
	90	計画打合せ					
	92	巡回指導					
	92	機材管理指導		継続	3		0
	93	エバリュエーション					
	94	事前調査(フェーズII)					
94	実施協議(フェーズII)						

<要請背景>

1980年2月より89年2月までザンビア大学医学部プロジェクトを9年間継続し、新生児管理、小児外科分野の協力が実施された。引き続き、保健医療分野の主要課題となっている感染症対策のため89年4月より94年3月まで小児医療の標準化およびウイルス・ラボの設立、機能強化のための協力が実施された。しかしながら、ウイルス・ラボの機能強化についてザンビア側においては将来的にPublic Health Laboratoryを設立する構想があり、ウイルス・ラボ強化のための協力内容・方針の策定のために1年間のフォローアップ協力の要請がなされた。

<目標と期待される成果>

1年間のフォローアップ期間中には、従来実施されたウイルス・ラボ強化のための技術移転をさらに定着させるための協力および今後の協力内容策定のための準備が合わせて行われる。

<協力活動内容>

上記に同じである。

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
ルサカ市基礎医療機材整備計画	保健省	(株)日本国際協力システム	94	4.51	95.4.25		

首都ルサカ市では、人口当たりの医療サービス施設数が非常に少なく、医薬品、医療器具も不足し、医療サービスの低下と混乱を招いているため、チャイナマ・ヒルズ病院、大学教育病院および20の都市保健センターに対する基礎的医療機材の供与を行う。

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	17.00	265.28
	技術協力 (億円)	8.78	38.93
	政府貸付金等 (億円)	0.38	214.05
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	10.06	38.93
	研修員受入 (人)	32(新規) + 3(継続)	147
	専門家派遣 (人)	2(新規) + 2(継続)	9
	調査団派遣 (人)	51(新規) + 0(継続)	339
	協力隊派遣 (人)	35(新規) + 65(継続)	102
	単独機材供与 (100万円)	95.24	91
	開発調査 (件)	2	11
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

政府貸付金等 0.38 (1.4%)

無償資金協力 17.00 (65.0%)	技術協力 8.78 (33.6%)
----------------------------	-------------------------

わが国の対ジンバブエODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ジンバブエ
アフリカ

● 公共・公益事業分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
車両検査用機材	一式	42,906	運輸エネルギー省車両検査場	一般単独機材	協力隊
車両・運転免許管理用機材	一式	8,037	中央車両登記事務所	一般単独機材	協力隊

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
地方道路開発用建設機材 供与計画	地方開発基金		88	9.25			95.3 (F/U)

- 本体：道路は、周囲の経済を支える重要インフラであるがその整備が立ち遅れているため、改善に必要な整備機材(ブルドーザー、モーターグレータなど)を調達した。
- フォローアップ協力：老朽化した機材のフォローアップの実施可否および協力内容について調査を実施する。

地方給水施設整備計画 (III)	土地・農業・ 水資源開発省 マジョナラン ド州事務所		93	7.77			95.2 (F/U)
<p>(1) 本体：東マジョナランド州ウェザ地区、UMP地区を対象とした400本の深井戸掘削にあたっての資機材の調達。</p> <p>(2) フォローアップ協力：機材のスペアパーツの供与を行う。</p>							
地方給水施設整備計画	土地・農業・ 水資源開発省	㈱三祐コンサ ルタンツ	94	1.64	94.85		
<p>ジンバブエでは、1992年の旱魃時に浅井戸の多くが枯渇したことから、より安定した水源の確保が求められており、東マジョナランド州を対象に深井戸を掘削する。</p>							
地方道路整備計画	運輸エネルギー 省国道局	日本工営㈱	94	30.65	94.85		
<p>道路のほとんどが未舗装で、雨期には大型車両の通行に支障を来している3つの村落共有地域を対象に、6カ所の橋梁の改修および当該3路線の道路整備にかかわる機材を供与する。</p>							

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ムニャティ川下流域農業 開発計画	マッシュランドウェスト州とミッドランド州にまたがるムニャティ川流域を対象とした農業開発基本計画策定に関するマスタープラン調査を実施する。1994年度は、本格調査を開始し、中間報告書を作成した。	土地・農業・ 水資源開発省 農業技術普及 局	㈱三祐コンサ ルタンツ

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
ニャコンバ地方灌漑計画	土地・農業・ 水資源開発省 農業技術普及 局	太陽コンサル タンツ㈱ ㈱三祐コンサ ルタンツ				94.8(本) 95.1(報)	
<p>ポンプ場放水管調整池管理事務所、ワークショップなどの灌漑施設の建設。</p>							

食糧増産援助	土地・農業・ 水資源開発省	(財)日本国際協 力システム	94	5.50	94.9.19	(資)	94.7(実)
<p>1994年度に要請のあった「食糧増産計画」は、小農を対象としており、地方の農業の開発の基礎となるものとして計画された。しかしながら、ジンバブエの低い外貨準備高(1991年：2億9500万ドル)では、肥料・農薬・農業機械などの農業生産資機材の調達(輸入)が困難であり、わが国による食糧増産援助(2KR)は、これら必要性の高い農業生産資機材を輸入するための主要な財源となっている。</p> <p>このような背景のもと、ジンバブエ政府は前述の「食糧増産計画」を完成するために必要な肥料・農薬・農業機械の調達について、わが国に対し食糧増産援助(2KR)の要請をしてきた。</p>							

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
マコンデ地域資源開発調査	マコンデ地域での、銅および金・銀・ニッケル・白金族などの鉱床の賦存状況の調査を目的としている。1994年度は、微弱な銅の鉱化を捕捉した。最高品位は銅0.45%、銀4.7g/tであった。	地質調査局	金属鉱業事業団

ジンバブエ
アフリカ

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
通信教育用機材	一式	44,290	情報通信省通信公社訓練センター	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入